

八王子消化器病院ニュース

第41号

医療法人財団 中山会

八王子消化器病院

消化器病専門医療機関・東京女子医大関連病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒192-0903 東京都八王子市万町 177-3

TEL: 042-626-5111

www.八王子消化器病院.com

制作 (株)教育広報社

おおり

HACHIOJI DIGESTIVE DISEASE HOSPITAL NEWS



新年のご挨拶

八王子消化器病院 理事長 鈴木 衛

新年明けましておめでとうございます。病院職員を代表し、ご挨拶申し上げます。

当院は、昨年5月に開院30年を迎え、全職員が気持ちを新たに医療活動に励むことを誓いました。開院30周年記念式典には患者様代表、近隣の方々、医師会、大学関係者など多くの方々のご出席をいただきました。

基本方針

この間の30年の歴史を改めて振り返ってみますと、当院は昭和58年に八王子市子安町に中山記念胃腸科病院として開院し、平成8年に病院名を八王子消化器病院と改称、平成14年には現在の万町に移転いたしました。開院以来の病院理念であります「患者様のための医療」を掲げ、消化器疾患の専門病院として、また八王子市近隣の住民の方々の健康管理を行う地域密着の病院として活動をしてまいりました。私どもは、この病院運営の基本方針を今後も変わることなく守り続けて皆様から信頼され、安心いただける病院作りを目指してまいります。

最新の医療情勢をふまえて

昨今の私どもを取り巻く医療情勢に目を向けますと、最新技術を取り入れた高度最先端医療の導入による医療の進歩が期待され

る一方で、医療費の増大が大きな社会問題になつております。世界一の長寿国となり

ました我が国の高齢者社会における医療・福祉の充実を目的とした消費税増税が決まり本年4月より実施されます。難しい話になりますが、消費税は通常では最終消費者に負担いただくものですが、保険診療においては最終消費者である患者様に関することはなく、医療機関側が負担する(いわゆる損税)こと

になります。そのために消費税が医療経営を危くする大きな要因となっており、5%が8%、10%となるとその影響は計り知れないものになります。加えて増大する医療費抑制のため今回の診療報酬改定は実質マイナス改定となり医療機関にとっては厳しい状況であります。私ども八王子消化器病院は今後とも最新で高度な診断・治療技術を駆使し、安全で安心出来る医療を目指してまいります。

早期診断と治療

現在、私どもの病院での具体的取り組みとして、まず第一に挙げられるのは消化器疾患を早期に診断し患者様にとつて可能な限り侵襲の少ない治療を行うこととあります。進行した悪性疾患の病巣部の完全摘除には全身麻酔下の開腹手術が標準的手術となりま

すが、がんの進行度が粘膜内であれば開腹することなく内視鏡による早期胃がん、早期大腸がんの根治治療が可能となっております。内視鏡技術を駆使した低侵襲性治療では手術後の疼痛が軽減されるばかりではなく、早期退院・社会復帰も可能となります。

このような治療が出来るには悪性疾患の早期診断が必要不可欠となります。消化器がんの専門的な説明になりますが、がん病巣が粘膜内に留まる早期がんの段階では経口あるいは経肛門的な内視鏡操作で早期がん病巣の根治的切除が可能です。同じ早期がんでも粘膜より深い部位までがんが浸潤している場合には腹腔鏡を用いた小さな開腹操作でがん病巣の根治的手術も可能となっております。

このように早期がんの段階で診断され治療を受けられるには、腹痛や出血などの進行がんの症状がみられる前に診断される必要があります。そのためには食道、胃十二指腸、大腸や肛門疾患や、肝臓、胆嚢や膵臓疾患の定期的検査を受けられることをお勧めします。

当院は、東京女子医大の関連病院であり、内科医・外科医ともに消化器疾患の診断治療の専門医資格を取得しており、最新技術を駆使した診断を行い、患者様お一人おひとりに最善・最良の治療法を選択し、患者様、ご家族と病院の医療スタッフ全員が連携をとりながら診療を行っております。

30年という一つの節目の年を越えた今、地域に密着した病院として、また消化器疾患専門病院として信頼される中核病院となるため全職員が一丸となつて、一步一步前進したいと願っております。

今年も私どもを取り巻く医療情勢に目を向けますと、最新技術を取り入れた高度最先端医療の導入による医療の進歩が期待され

もっと知りたい!

身体 治療 のコ
病気

胆石について

八王子消化器病院 消化器外科 医師
尾崎 雄飛

1. 胆石とは?

胆石は、肝臓で作られた脂肪やタンパク質などの消化を促す胆汁が固まってできるものです。胆汁は、肝臓から胆管を通って、胆のうに蓄えられ、そこで濃縮された後に胆管を通じて十二指腸に流れます。

胆石は、胆汁が固まってできるものなので、できる位置がいくつかあります。最も多いのは、胆のう(胆のう結石)で胆石の約80%を占めます。次いで胆管(総胆管結石など)で約20%、そして肝臓(肝内胆管結石)で1%程度です(図1)。

この中で、症状が出やすいのは胆管結石で黄疸(皮膚や眼球が黄色くなること)や発熱が生じます。胆石があっても必ず症状があるわけではなく、胆のう結石と肝内結石では痛みがないこともあり

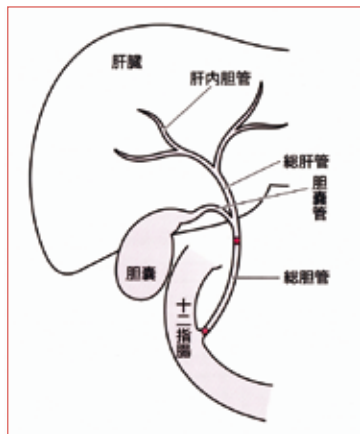


図1: 日本消化器病学会「胆石症ガイドブック」より

ます。胆のう結石の場合は胆のうが収縮する際に石が移動して、胆のうの出口に詰まると痛みを生じます。痛みの部位としては心窩部(みぞおち)や右季肋部(右の肋骨の下付近)で強い痛みを生じます

が1〜2時間程度で改善されます。これが胆石発作と言われるものです。脂肪分の多い食事をした際は、脂肪を消化するために胆汁が分泌され胆のうが収縮し、胆石発作が起こりやすくなります。出口に石が詰まった状態が続くと胆のうに細菌感染が生じ、急性胆のう炎となり、黄疸や発熱を生じます。

2. 治療は?

胆石が有ったからといって、必ずしも治療が必要なわけではありません。特に症状がなければ経過観察となります(胆石を認める約20%の方は無症状です)。胆石発作、胆のう炎、胆管炎などを生じた場合は治療を行います

が、特に急性胆のう炎、胆管炎の場合には致命的になる場合もあるため、早急な治療が必要となります。

今回は、胆石の中で最も多い胆のう結石の治療に関して説明致します。

胆のう結石の治療法には、内科的治療(胆石溶解療法など)と外科的治療(手術)

があります。胆石溶解療法は、効果のある人が限られており、完全に胆石が溶けてしまう人は20%弱です。一方、手術(胆のう摘出術)は、胆石ができる場所がなくなってしまうため根本的治療になります。よくある質問で「胆石だけではなく胆のうも取るのですか?」と聞かれることがあります

とありますが、胆のう摘出術により胆石ができる場所をなくしてしまうというのも治療になっていきます。

3. 手術(胆のう摘出術)

手術法には①腹腔鏡下手術と②開腹手術の2つの方法があります。

腹腔鏡下手術は、20年位前から日本でも行われるようになった手術法で、5mmと12mmのポート(カメラや手術器具を入れる筒)をお腹に挿入して、テレビモニターを見ながら行う手術です。当院でも胆のう結石の患者さんの大半でこの手術を行っております。手術後に体を動かす際に負担が軽く、手術痕が小さいため美学的にも優れています。

開腹手術は、胆のうの炎症が高度であったり、以前に手術を行った方で、お腹の中の癒着が予想される場合に行います。腹腔鏡下手術よりも創部が大きいため手術後の疼痛がその分ありますが、入院期間に関しては数日長くなる程度です(図2)。

4. 胆石と食生活

胆石にはいくつか種類がありますが、コレステロールが主成分となった胆石が全体の約80%を占めています。脂肪分の多い食事やアルコールはコレステロール

を増加させるため、できるだけ控えることが重要です。(コレステロール胆石ができやすい人は、Forty (40歳代)、Female (女性)、Fatty (肥満)、Fair (白人)、Feund (多産婦) が知られており、頭文字をとって「5F」といわれています。)特に胆石の有る方は、胆石発作を誘発させるため注意が必要です。肥満、過食にならないような食生活を送りましょう。

胆石に関して、治療も含め相談なさりたい方は外来で気軽にご相談ください。



①. 腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術痕

②. 開腹による胆嚢摘出術の手術痕

① } 12mm
② }
③ } 5mm
④ }

正中切開(①)の場合が多いですが、肋弓下切開(②)を用いる場合もあります。

図2: 日本消化器病学会「胆石症ガイドブック」より

邂逅 (かいこう)

日野市平山在住

増沢 則子さん



41

幾山河
越えさり行かば寂しきの
終(は)てなむ国ぞ
今日も旅ゆく

二十二才の牧水が宮崎に帰る途中、岡山を過ぎ広島に入った時の歌である。そこに住んでいた私は「人生は旅である」と云いきった牧水の歌が十代の頃から好きであった。

五十数年前の教え子の一人、澤渡万理子から久野事務長を紹介され八王子消化器病院に伺って下さり「四階、即、検査入院」と言われ「これからは外科に移っていただきます」と言われた。外科は鈴木修司先生である。今から五年前のことである。

病知らずで病院には縁遠かった私は、病院というのは、入院もこのように速やかに進むのかとびつくり、感心した事を覚え

ている。鈴木先生は終始おだやかで今回の病気が大腸癌の四段階の一番下の四であることと言われた。静かに言われたので何だか安心して頷いていた。

教え子は急なことなのでスリッパ・寝まき・湯呑み・お箸など、そこうデパートで買い揃えてくれた。その日、遠くの廊下を歩く主人を見かけ、仕事で多忙を極めている筈なのに、赤坂の会社から何故来てるのかと思つた。

翌日から面会時間が終る迄、毎日のように生徒たちが来てたので本当に嬉しかった。何十年振りの子たち、きれいな花のそばで何を話すでもなく居てくれて本当に嬉しかった。多分、手術後には抗癌剤を使つたと思うけど何の副作用もなかったのは皆のお陰と思つている。

お茶の家元稽古人が遠くから見えた時も、生徒達や茶の弟子

が抹茶を点でて、もてなしをしてくれた。

私の幸せな時間は病気や病院のお陰で過ぎてゆくと思つた。先生や看護師さんだけでなく、タオル交換の方、お掃除の方、心のこもった美味しい食事、病院でこんなに感謝の溢れる所とはーと本当に嬉しかった。

夜一人になった時、先程の牧水のうたを口ずさんでみる。

「寂しきの終(は)てなむ国ぞ
今日も旅ゆく」

寂しきの果てる国はあろうはずもなく...などと考えたりした。

仕事が終わってかけつけた主人が「則子、本当によかったね」と人目もはばからず抱いてくれた時、「あれ、大変な手術だったのか」と思つたり。病室にいらした鈴木先生が「無事に終りましたよ。人工肛門にならないでよかったですね」と言われビックリしたが、いつものように穏かに仰言るので安心した。

皆が驚くのは術後以来、ただの一度も手術の跡が痛い、という事を感じない事である。私達は皆で「先生の手は神の手」と言うようになった。

この頃わかったことは、大変な時でも、先生は決して大仰に言われないことである。何気な

く言われたことは全部大事なことということがわかってきた。

私は、音楽と茶道以外は音痴と言われ、今も病院に伺う時は五十数年前の生徒が引率してくれる。先生の仰言ることを、きちんと手帖に書き留めているのは流石と思う。五十数年も経つと、あの小さかった子が成長するものだと思ひ、負うた子に教えられとは、この事であろう。

私の師は、表千家の筆頭家老に位置する方であるが、入院中の私に長い手紙を下さつた。

今、癌は日進月歩の勢いで研究がなされてる。医学を信じ、お医者様を信頼し、気力を持つ事が大事、と書かれてあつた。

そして著名な方が書かれた「今の時を静かに生きよ」と言う意味の御染筆を頂戴した。

お師匠様には何十年も、ただ叱られ、叱られて来たわけで、あのおおらかな安倍首相の奥様が「こんな厳しく叱られるのならお茶が嫌いになりそうです」と言われると宗匠は「はい、私は日本一厳しい師匠です」と言い切つた方である。

それなのに頂いたお手紙は優しさに溢れていて、静かに深く、身に、心に、沁み通つてゆき、涙がとまらなかつた。

水の流れが再び同じ処に帰るが如く、今、この時間も二度と帰って来ない。だから、今この時を生涯ただ一度のことと思ひ、大事にするようにと「茶の湯一会集」(井伊直弼)に書かれた「二期一会」の心が、病院に、鈴木先生に、教え子に、お師匠様にあい通じます。

追

★病院のクリスマスマスカヤロール、美味しいケーキ頂きました。美しいベルの音色を聞きました。祈りに似た心持になり、余情残心の幸せを感謝しました。こうして、またこの年が去り新しい年を迎えます。



内視鏡センターのご紹介

内視鏡センター
主任 山田 英生

内視鏡センターでは医師、看護師、内視鏡検査技師、看護助手の 4 職種のメンバーが当院の理念である「患者様のための医療」の下に、日々業務を行っております。

内視鏡検査というと検査に対する不安感や辛い・苦しいといったイメージをお持ちの方が少なからずおられると思います。当センターでは、各スタッフが緊密に連携をとることに より検査前の緊張感を和らげ、検査中は患者様の状態に注意を払いお声をしたり、背中をさすったりして、不安感や苦痛を少しでも軽減し、安全に検査を行えるように努めて



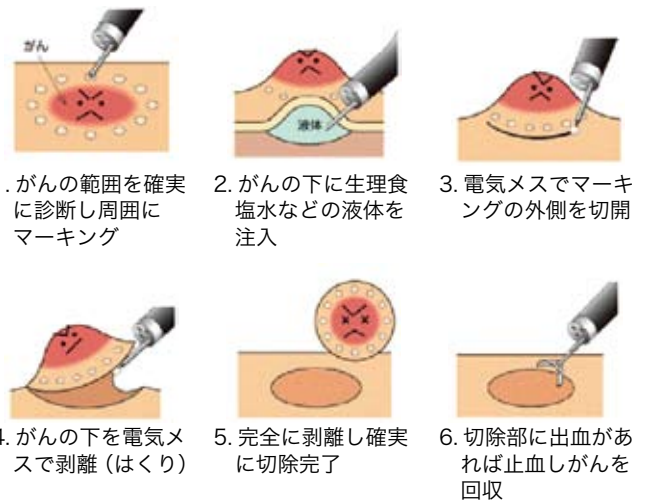
内視鏡センタースタッフ

おります。

また、長期化する検査予約待ち期間の解消、検査時間の短縮を図るため、検査室を従来の 3 部屋から 4 部屋に拡充し、機器洗浄室も増設しました。それに伴い内視鏡スコープ、洗浄機、光源装置、モニター等を最先端の機器に入れ替えました。その結果、検査件数は年々増加し、現在では上部・下部内視鏡検査は年間 12,000 件を超えるようになりました。一方、内視鏡管理システムを導入したことにより、内視鏡画像・検査履歴データの電子保存や、スコープの洗浄消毒履歴の管理も可能となりました。今後は、これらのデータを分析し、業務改善に活かして今迄以上に安全な検査を行っていきたくと考えております。

今日、内視鏡検査技術は著しく進歩し、機器は大きく進化し続けております。ハイビジョン拡大内視鏡スコープを用いた画像診断では、微細な血管や粘膜の状態を観察できるようになり、早期がんの発見率が向上し、これが内視鏡的治療の進歩へと繋がりました。

その代表的な治療法のひとつに内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) があります。以前は、内視鏡スコープの鉗子口から挿入した金属の輪に電気を流しポリープを焼き切っていました。また、平らな病巣に対しては、生理食塩水を粘膜下層に注入してポリープ状に持ち上げただうえで同じように切除していました。しかし、これらの方法では、病巣が大きい場合、広範囲に切除しようとする胃や大腸に穴を開けてしまう危険性が高いため、安全に治療できる病巣の大きさは 2 cm 程度が限界でした。この問題を解消するために考案されたのが ESD です。ESD は、病巣が胃や大腸



オリンパスおなかの健康より一部引用

の粘膜内に留まっている場合 (極く僅かに粘膜下層に浸潤している場合を含む) に、スコープの先端に付けたナイフを用いて病巣の周囲を切開し、粘膜下層に生理食塩水を注入し病巣を剥がし取る治療法です。ESD の利点は、大きな病巣でも取り残しなく剥離できることから再発の危険性が少ないことです。また、開腹手術と異なり胃や腸を残した状態で治療することが出来ます。当院におきましても ESD は年々増加しており、今後も更なる増加が見込まれております。

以上のように当センターでは、最新の内視鏡検査技術・機器を逸早く取り入れていくとともに、患者様への積極的な声かけや介助を通して、安心・安全な検査を受けていただけるようスタッフ一同、努めていきます。

想うこと

神馬 (じんめ) にも
年迎う燭ひとつ置く

／宮原双馨



新年あけましておめでとうございます。
この正月は好天に恵まれ、かつ暦の上でも巡り合せが良く、ゆったりと過ごされた方が多かったことと思います。各地から届く正月の光景が何時になく

明るく華やいで映ったのは、日本が長く続いた経済の低迷から脱却し、漸く本来の姿を取り戻すのでは...との期待感のせいでしょうか。

一方、政治や社会生活における難問課題も多い本年です。干支の「午 (うま)」にあやかり、世の中万事うまく運び、人々に幸福が駆け込んで欲しいものです。
事務長 久野久夫